

事業者向け

児童発達支援自己評価結果

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	○		
	2	職員の配置数は適切であるか。	○		
	3	生活空間は本人に分かりやすく構造化された環境になっているか。また障がいの適正に応じ事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮は適切になされているか。	○		トイレ、手洗い場においても子どもに使いやすいよう工夫している。
	4	生活空間は清潔で心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか。	○		遊び場、療育の場、活動の場と区別が出来るよう工夫している。
業務改善	5	事業改善をすすめるためのPCDAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参加しているか。	○		職員、皆で個々の様子を話し合い、目標を確認し設定している。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価をするとともに保護者等の意向を把握し業務改善につなげているか。		○	今年度はじめてアンケートを実施している。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価票の結果を踏まえ、事業所としての自己評価を行うとともにその結果による支援の質の評価及び改善の内容を事業所の会報やホームページで公開しているか。		○	今回の評価が初めての公開である。
	8	第三者による外部評価を行い評価結果を業務改善につなげているか。		○	
	9	職員の資質の向上を行うために研修の機会を確保しているか。	○		外部研修に参加している。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		
	11	子どもの適応行動の状況を図るために標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	○		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		家庭、療育現場、福祉課、保育園、学校等、各関係機関を含め、定期的に支援会議を行い発達の共有をし、支援内容を設定している。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	○		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
適切な支援の提供	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		療育の先生方(OT,PT,ST)の指導の下行っている。
	15	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか。	○		
	16	子どもの状況に応じて個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか。	○		児童の発達段階に合わせて個別活動と集団活動を組み合わせた計画を作成している。 個別活動(生活習慣、個別療育)と集団活動(朝の会、食事、運動、遊び等)とを含めて支援計画を作成している。
	17	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	○		活動内容や役割分担の確認が出来ている。
	18	支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをしその日に行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	○		
	19	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか。	○		
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	○		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行なっているか。	○		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の支援をしている場合)地域の保険、医療、障害福祉、)保育、教育等の関係機関と連携した支援を行なっているか。			該当なし
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の支援をしている場合)子どもの主治医や協力医療機関などと連絡体制を整えているか。			該当なし
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		
26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
関係機関や保護者との連携	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し助言や研修を受けているか。	○		専門機関と連携し学習会などを行っている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等の交流や障害のない子どもと活動する機会があるか。		○	
	29	(地域自立支援)協議会子ども部会や等へ地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		
	30	日頃から子ども達の状況を保護者と伝えあい、子どもの発達状況や課題について共通理解をもっているか。	○		日頃から連絡ノートでのやりとり、送迎時に様子を伝え合っている。
	31	保護者の対応能力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか。		○	
保護者への説明責任等	32	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		利用前に説明を行っている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい、及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		定期的に相談日を設定している。
保護者への説明責任等	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。		○	
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		会報等は発行していないが、連絡ノートで伝えている。
	38	個人情報の扱いに注意しているか。	○		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
非常時などの対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○	保護者への周知が不十分。
	42	非常災害の発生に備え、定期的の避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		○	定期的ではないが、訓練を行っている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		保健調査票に記入していただき把握している
	44	食物アレルギーのある子どもについて医師の指示書に基づく対応がなされているか。		○	保護者からの聞き取りを行い対応している。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	○		
	46	虐待を防止するため職員研修会を行うなど、適切な対応をしているか。	○		
	47	どのような場合にやむをえず身体拘束を行うかについて組織的に決定し、子どもや保護者に対し事前に十分に説明し了解を得た上で児童発達支援計画に記載しているか。			該当なし